



## 『スパークス 日本株長期投資のすすめ』

スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

第91号(2011年4月8日)

### 「経済、社会変動と株式投資」

東日本大震災の発生より約1ヶ月が過ぎようとしております。被災された皆さま、そのご家族の方々、ご関係者の皆さまのご苦勞に対し深く思いを致す次第です。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

今回の災害をうけて株式市場をはじめとした金融市場も、しばらくは混乱するものと思います。しかし過度な不安心理に翻弄されることなく、長期投資の観点で冷静な視点から株式市場をみていくことが大切であると私どもは考えます。

私どもは、投資対象を検討する際に、個別企業について徹底した調査・分析を行っていますが、とりわけ長期投資に耐えうる銘柄の条件として、

- ・本質的に安全なビジネスである
- ・強固なバランスシートを持つ、を重視しております。

「本質的に安全なビジネス」とは、不測の事態に見舞われても、業績やビジネスモデルが構造的に悪化しにくい事業を指します。具体的には、日用品を手掛ける企業や、特定の法人客を対象とした事業よりも幅広い産業の顧客を対象とした企業であり、原材料や生産体制面については、市況に左右されるような素材に過度に依存しておらず、生産拠点が広く分散していることも重要です。また損益分岐点が高い(＝利益率が高い)ことで、赤字になりにくく、ブランド力やコスト競争力などに優れている点も考慮します。

一方「強固なバランスシート」とは、自己資本が充実しており、一時的な外部環境悪化でも事業継続が十分可能であること、また手元の余剰資金で事業を拡大していける企業です。

株式投資というのは、将来の予測を伴うものです。しかし、目先の材料をもとに短期売買に走ったり、市場に追随するようやり方では、株式投資を継続的に成功させることは非常に困難と考えています。むしろ不確定要素が多いなかでも、個別企業の過去の実績を分析し、経営者の資質をしっかりと理解すれば、将来の「勝ち組」になれるか否かのおおよその判断は可能であると考えます。私どもはこれからも長い投資時間軸およびビジネスを分析する視点に立ち、引き続き長期的に市場平均を上回る高いリターンを達成していけるよう努力してまいります。

日本経済および株式市場はこれまで幾度もの自然災害や社会的危機を経験してきました。いずれも短期的には極度な不安心理による株の投げ売りが見られましたが、時間の経過に伴い乗り越えてきたものと思います。米国においても、1941年の日本による真珠湾攻撃、1987年のブラックマンデー、2001年のニューヨーク同時多発テロなどに直面しながらも、米国人は今日、当時と比べ高い生活水準を達成していることをウォーレン・バフェット氏が述べています。日本は少子高齢化・内需縮小という難しい問題をかかえていますが、この国には世界へ羽ばたける優れた企業が沢山あると見ています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

## 『スパークス 日本株長期投資のすすめ』



スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

### 第91号(2011年4月8日)

新興国を中心に世界経済成長の恩恵を今後受けることが期待できる企業が割安に放置されており、今は非常に大きなチャンスだと考えます。

(注) 本コラムは、マネックス証券Web-Site「マネックスラウンジ」の「マネックスメール」に掲載されている「スパークス・アセット・マネジメントの『SPARX Way』」をもとにスパークスが作成したものであります。また、上記は株式投資に関して理解を深めていただくためのものであり、特定の有価証券を推奨しているものではありません。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。